

平成24年度 沖縄振興交付金事業計画（沖縄振興特別推進交付金）

(単位:千円)

地方公共団体名	16_本部町	交付限度額		交付金交付額		
		市町村分総額	うち当該団体配分額	既計上額 ①	追加額 ②	合計額 (①+②)
		30,300,000	410,000	0	410,000	410,000

(単位:千円)

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業始期 年 月	事業終期 年 月	総事業費					振興計画 該当箇所 章 節 項 目	備考	内諾日 月 日		
							A	B	C	交付対象事業費					G	
										交付金交付額	負担額					
							D	E	F							
合 計							535,805	512,803	410,000	0	102,803	0	23,002			
1	本部町観光拠点形成事業	平成14年の美ら海水族館の開館を機に、多くの観光客が訪れる本部町。いまや年間約350万人の来場者が海洋博記念公園に足を運んでいる。「太陽と海と緑・観光文化のまち」を掲げている本町として、観光資源を今一度見直し、また新たな観光の拠点となる資源を開発することで、着地型観光としての商品化を図り、多くのお客様に対して満足していただける観光のまちづくりを目指す。	イ	5	24 7	29 3	184,317	184,317	147,451	0	36,866	0	0	3 3 (2) ウ		
①	花いっぱい運動の推進事業	一年を通して花いっぱいのまちづくりを推進するために、町内の各種団体と連携して国道及び県道沿いにプランターの設置や花の植え付けを行う。また、「本部町まちぐるみ花いっぱい推進協議会（仮称）」を設立し、花いっぱいのまちづくりを推進する。	イ	5	24 7	29 3	18,000	18,000	14,400	0	3,600	0	0	3 3 (2) ウ		6 21
②	八重岳及び町有公園の美化推進事業	町有公園等の観光施設には多くの木々や花が植えられているが、亜熱帯気候地域に位置する沖縄（本部町）は、適切な管理を行わなければ雑草の繁茂が早く、花が見えなくなる現状である。魅力ある観光地づくりを推進し、観光施設の整備を図るためにも、景観美化等を実施する。	イ	5	24 10	29 3	12,474	12,474	9,977	0	2,497	0	0	3 3 (2) ウ		6 21
③	観光アクセスロード整備事業	本町を訪れる観光客は散策を楽しむ傾向があるが、町内にある観光文化施設へのアクセスロードは老朽化が進み歩行者にとって危険な道路となっている箇所が多くあるため、観光客の安全や観光イメージを損なわないためにも、アクセスロードの整備を実施する。	イ	2	24 11	26 3	38,000	38,000	30,400	0	7,600	0	0	3 3 (2) ウ		6 7
④	周遊観光実証調査事業	観光客に認知されていない本部町内の穴場的スポットを観光コース化するとともに、観光ガイドや体験ツアー補助を行う人材を育成する。	イ	5	24 10	29 3	10,000	10,000	8,000	0	2,000	0	0	3 3 (2) ウ		6 7

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入すること。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内とする。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入すること。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費	交付対象事業費					交付対象外経費	振興計画該当箇所	備考	内諾日									
					年	月		年	月	A	B	C				負担額			G	章	節	項	目	月	日
																D	E	F							
⑤	もとぶ港まち活性化事業	平成24年5月に整備された渡久地港プロムナードは、近くに町営市場や飲食店などが多数ある町中心地域であり、本スペースの有効的な活用と新たな観光スポットを形成するため、商工会や観光協会と連携し『もとぶ夜市』を開催し、観光客の誘客を図る。	イ	2	24	8	26	3	18,500	18,500	14,800	0	3,700	0	0	3	3	(2)	イ	6	7				
⑥	外国人対応観光人材育成事業	近年、外国からの観光客が増加してきており、外国人インバウンドを促進するためにもホテルや飲食店、土産物店などの観光業や商工業従事者などの関係者に対し、語学や郷土文化の研修等を実施し、外国人サービス向上を図る。	イ	5	24	10	29	3	1,000	1,000	800	0	200	0	0	3	3	(2)	エ	6	7				
⑦	観光施設設備整備事業	高齢化社会を迎える中で、観光に訪れるお客様も、お年寄りの団体観光が増えてきており、高齢者に配慮した環境整備が急務である。町内における観光施設の公衆トイレを整備し、高齢者にやさしいトイレ環境を整備する。	イ	2	24	9	26	3	18,200	18,200	14,560	0	3,640	0	0	3	3	(2)	ウ	6	7				
⑧	市場駐車場整備事業	町営市場の慢性的な駐車場不足の解消のため、市場駐車場を整備し、観光客等の利便性を向上させる。また、空き店舗への起業家斡旋を実施し、集客力の増大を図り、観光の振興につなげる。	イ	1	24	9	25	3	28,054	28,054	22,443	0	5,611	0	0	3	3	(2)	ウ	6	7				
⑨	本部半島ジオパーク推進事業	平成25年度に日本ジオパークに認定されることを目標に、本部半島のジオサイト（地球科学を中心とした自然・文化のみどころ）調査、住民理解の促進、ジオツアーの企画・実施、ホームページの作成、解説板の整備等を行う。	イ	5	24	7	29	3	8,400	8,400	6,720	0	1,680	0	0	3	3	(2)	ア	6	7				
⑩	自然体験研修施設整備事業	旧健堅分校施設を有効活用するために、町内の海・山を利用した自然体験施設を整備し、本町の児童生徒をはじめ、修学旅行等で本町を訪れる児童生徒にも施設を活用して自然体験を提供し、児童生徒の情操の教育と、観光振興にも繋げる。	イ	3	24	11	27	3	4,500	4,500	3,600	0	900	0	0	3	3	(2)	ウ	6	7				
⑪	スポーツツーリズム環境整備事業	本部町運動公園は、プロサッカーチームや実業団陸上部等の合宿施設及び競技会場として利用されているが、設備環境が不十分なこともあり、今後も安定した合宿や公認競技等の誘致のために、公認競技場の認定取得及びプロスポーツ等の練習施設としての環境整備を行い、スポーツツーリズムを通して観光振興に繋げる。	イ	1	24	7	25	3	27,189	27,189	21,751	0	5,438	0	0	3	3	(2)	ア	7	12				

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入すること。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内とする。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入すること。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費						振興計画該当箇所	備考	内諾日							
					事業 始期	事業 終期	交付対象事業費			交付対象外 経費	章	節			項	目	月	日				
							A	B	C										負担額			
																			D	E	F	G
年	月	年	月	年	月	年	月	年	月	年	月	年	月	年	月							
2	本部町亜熱帯農業生産体制強化事業	農業生産の拡大を図るため、農業用機械を整備し、生産基盤の強化を図る。また、台風などの自然災害に強い農業生産施設の整備や鳥獣被害対策を図り営農活動の安定化を図る。 中山間部においては、バイオマス資源を豊富に有しており、総合的利活用システムを確立する。 その他、農作物の集出荷体制を整備し、町内ホテルや飲食店等へ定期・定量出荷をすることにより「自産自消推進モデル」を構築する。	ハ	5	24	9	29	3	219,942	199,640	159,712	0	39,928	0	20,302	3	3	(7)	7			
①	本部町キク拠点産地強化事業	本町の拠点産地である輪菊については、産地拡大の課題となっている収穫労働の省力化を図るため、花卉選別機の整備により産地基盤の強化を図る。	ハ	1	24	10	25	3	49,000	44,100	35,280	0	8,820	0	4,900	3	3	(7)	7		6	29
②	園芸農業防災施設整備事業	沖縄県は台風が多々発生し、農産業に大きな被害を与えるため、台風などの自然災害に強い農業生産施設（ビニールハウス）の整備を図り、台風時の農業生産物被害の軽減や生産農家が年間を通して計画的な生産・販売を行える環境を整備する。	ハ	1	24	10	25	3	33,600	30,240	24,192	0	6,048	0	3,360	3	3	(7)	7		6	29
③	本部町有害鳥獣駆除対策事業	近年、果樹類については、カラス・ヒヨドリ等による鳥獣被害が増大しており、生産農家の生産意欲が低下している。このため、鳥獣被害対策が非常に重要な課題となっており、その対策を実施する。	ハ	5	24	9	29	3	5,600	5,600	4,480	0	1,120	0	0	3	3	(7)	7		6	29
④	亜熱帯バイオマス有効活用事業	本町は、中山間部が多く、周年温暖であるため、草木・木材等の植物系および水産加工を主体とした動物系等バイオマス資源を豊富に有している。バイオマス資源のストックヤードの整備を図ることにより、現在焼却処分等で対応している植物系・動物系等各種バイオマス資源の総合的利活用システムを確立する。	ハ	1	24	10	25	3	119,692	108,000	86,400	0	21,600	0	11,692	3	1	(2)	7		7	31
⑤	水納島産業創出支援事業	本町の唯一の離島である水納島は、夏期は観光、冬期は農業が中心となっている。冬期に生産される野菜は高品質で消費者ニーズも非常に高い。水納島の農業振興により島民の農業所得を図るため、農業用機械の整備を推進する。	ハ	1	24	10	25	3	3,350	3,000	2,400	0	600	0	350	3	3	(7)	7		6	29
⑥	もとぶ自産自消推進モデル構築事業	本町には観光客向けのホテルや飲食店等が多数立地しているが、町内にまとまった出荷組織がなく、個別の生産者単位では定期・定量出荷が困難であるため町内産の食材はほとんど活用されておらず、観光振興及び農業振興上の大きな課題となっている。ゴーヤー・キャベツを始めとする、在来ネギ、島ラッキョウ、ハンドマ、在来紅いも等、本町特有の島ヤサイ等の集出荷体制を整備し、それらを地元で消費する「自産自消推進モデル」を構築する。年間300万人が訪れる本町の観光業と農業をリンクさせ、農業振興及び観光振興の相乗効果を図り、地域経済の活性化につなげる。	ハ	5	24	9	29	3	8,700	8,700	6,960	0	1,740	0	0	3	3	(7)	1		9	4
3	① 本部町漁業生産体制強化事業	高齢化や後継者不足による漁業従事者の減少や自然環境の悪化などによる水産資源の減少等により、安定した漁家経営を行うことが難しくなっている現状を踏まえ、渡久地港北側岸壁の船揚場に漁船巻揚げ機を設置し、漁業作業の効率化を図る。	ハ	5	24	9	29	3	22,200	20,000	16,000	0	4,000	0	2,200	3	3	(7)	エ		6	29

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入すること。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内とする。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入すること。

No.	交付対象事業等の名称	交付対象事業等の概要	事業分類	計画期間	事業期間		総事業費	交付対象事業費					振興計画該当箇所	備考	内諾日									
					年	月		年	月	A	B	C			負担額			G	章	節	項	目	月	日
															交付金交付額									
															D	E	F							
4	① 本部町地域産業安定化事業	現在、未開拓のまま放置されている上本部飛行場跡地に、平成23年度に策定した「上本部飛行場跡地利用基本構想・基本計画」に基づき、6次産業化の実践、観光体験型農業の実践、農産物・農産加工品のブランド化など産業創出に係る企業を立地させるため用地取得を実施する。	ホ	1	24	8	25	3	79,157	79,157	63,286	0	15,871	0	0	3	3	(7)	キ	6	29			
5	① 本部町文化拡充事業	琉球古典音楽、沖縄民謡、クラシック、ポップスなど、ジャンル枠を超えて多数の音楽家を輩出している本町を「地域一体型音楽のまち」としてイメージを確立し、様々なジャンル及び地域とのコラボレーションによる音楽イベントを開催しまちの活性化につなげる。 地域一体型音楽の中で、児童生徒を巻き込んで、芸能文化の継承を図る。音楽の持つ感動体験は児童生徒にとってかけがえのない体験であり、この体験を通して豊かな感性を育む。 また、これらの音楽イベントを観光客向けのコンサートとして定例化を図り、観光資源としても利活用していく。	リ	1	24	10	25	3	2,500	2,000	1,600	0	400	0	500	3	1	(5)	7	6	29			
6	① 本部町自然環境保全事業	貴重な観光資源となる美しい海を保全するため、赤土流出が見られる流域の現地調査、地形調査、水文調査等を実施し、木材チップによるマルチングや、グリーンベルトおよびガラスリサイクル製品で製作したフィルターを設置し観測可能な、河川に繋がるほ場水路等の選定及び設置を行い実証事業を実施する。	レ	5	24	10	29	3	5,300	5,300	4,200	0	1,100	0	0	3	1	(1)	4	6	29			
7	① 本部町防災体制強化事業	本部町は、美ら海水族館等の主要観光地を抱え、毎年多くの観光客が訪れる。情報が不足しがちな観光客の安全を確保するために、アクセス道路である国道、主要観光施設、宿泊施設等に海拔表示板等を整備し、防災体制の強化を図る。	レ	1	24	10	25	3	5,100	5,100	4,000	0	1,100	0	0	3	2	(4)	4	6	29			
8	① 本部町仮戸籍等電子化事業	戦争で焼失した戸籍を再編する際の経緯に基因し、従前戸籍と実家戸籍との間で誤りが多く土地、相続手続き等で支障を及ぼす場合が多々あり、国、県、市町村等の事業を進める際に支障をきたしている。これらを電子化しサービスの改善を図る。	ソ	1	24	10	25	3	17,289	17,289	13,751	0	3,538	0	0	3	2	(5)	4	6	29			

注 1) 事業分類は、要綱別表に掲げる交付対象事業の左欄の「イ」～「ソ」の記号を記入すること。
 2) 事業期間は、計画の期間である10年以内とする。
 3) 「総事業費」、「交付対象事業費」、「交付金交付額」、「負担額」、「交付対象外経費」には、それぞれ当該年度に要する経費の額を記入すること。